

さて、朝は前日にスーパーで買い求めた「七草」をもとに粥にして食した。1月7日は、年に5回ある「五節句」のうちで最初の節句。「人日の節句」とされる^{じんじつ}(note4)。唐ではこの日を「七種菜羹」^{さいのかん}と呼ばれ、七種類の野菜が入った汁を食べて無病息災を願ったとされる。江戸時代には「春の七草」として庶民にも広まり、無病息災、長寿健康を願うようになったという。

